

# 真宗講座

本講座は、岡崎教区第15組が長年実施している夏期集中型の聞法講座で、最寄りの寺院において、内外で活躍されている講師より、御法話をいただきます。生活に流されがちな私たちが“現代に生きる浄土真宗の教え”に触れる大切な機縁です。本講座の開催にあたっては、有縁の方々の志により、組内僧侶によって申経をお勤めいたします。是非、お誘い合わせの上ご参詣・ご聴聞下さいますようお願い申し上げます。

## 共通テーマ『聖典に学ぶ』

◆ 7月 8日(火) 正林寺(高浜市呉竹町2-1-5)

### 『聖典に学ぶ』

佐野 明弘 師(東本願寺同朋会館教導)

◆ 7月 14日(月) 龍讚寺(西尾市米津町白沢113)

### 『浄土論に学ぶ-特に「我一心」を中心に-』

尾畑 文正 師(同朋大学特別任用教授)

◆ 7月 23日(水) 城泉寺(安城市城ヶ入町新井152)

### 『こころ開けば体いきいき』

亀井 鑛 師(名古屋市珉光院門徒)

◆ 8月 4日(月) 念空寺(安城市東端町中縄手11)

### 『蓮如御文に学ぶ三河真宗の歴史』

安藤 弥 師(同朋大学准教授)

※ 各日とも、午前9時より申経始経(30分程度)  
のち御法話 正午まで(休憩等含む)

主催：真宗大谷派岡崎教区第15組教化委員会

(高浜市)：恩任寺・秋篠寺・専修坊・壽覺寺・正林寺

(安城市)：本龍寺・信照寺・念空寺・寶林寺・城泉寺・明水寺

(西尾市)：隨嚴寺・龍讚寺

## 《講義概要》

### 『聖典に学ぶ』

佐野 明弘 師(東本願寺同朋会館教導、石川県加賀市・蓮如上人御旧跡光闡坊住持)

現代どこに「聖」があるだろうか？ 聖典に学ぶことがデキスト学習になってしまう。理解と知識は人間を開くことがない。本来人間の苦悩に依りて見出され、人間を開いてきた聖教が学習の対象にしかならないのは、苦悩が見えなくなっているということか？ 聖典を「聖典」としていただくことは、如何にして可能か？

### 『浄土論に学ぶ-特に「我一心」を中心に-』

尾畑 文正 師(同朋大学特別任用教授、元同朋大学学長、三重県いなべ市・泉稱寺住職)

親鸞聖人が顕す真実の信は、一般的に考えられている「何かについて信ずるとか、信頼する」といったような対象を信ずる人間の心理的作用ではない。そのところを、親鸞聖人における『浄土論』のご理解を通じて考えさせていきたい。

### 『こころ開けば体いきいき』

亀井 鑛 師(名古屋市・珉光院門徒)

大無量寿經にある言葉「開神悦体」の四字を、本願念仏道の大先覚・曾我量深先生は、よく色紙などに書かれました。それを私は南無阿弥陀仏そのことだと味わっています。開神の二字が南無、悦体が阿弥陀仏。では、そのことを生活の上で、はどう実地体験してうなずくのか。一緒に学びたく存じます。

### 『蓮如御文に学ぶ三河真宗の歴史』

安藤 弥 師(同朋大学准教授、岡崎市福岡町・浄専寺)

蓮如上人があらわした『御文』のなかには、戦国時代の三河真宗の歴史の実態が読み取れるものもある。三河の人びとはどのように真宗の教えを受けとめたのか。また、三河から尾張・伊勢、北陸へとつながる真宗の地域的ひろがりについても考える。

※ 4会場すべて聴聞された方には、素敵なプレゼントが当たります。